

あさぎ町

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～

通年議会

第1回会議

No.68
R3年.8.5発行

各会計補正予算

..... 2～3P

議員報酬に関する

条例の一部改正の発議

..... 5P

一般質問

..... 6～15P

インターネットを終えて

..... 19P

あさぎ町議会

検索



令和3年度 第1回会議開催

令和3年度第1回会議が、6月8日から11日の4日間の会期で開催された。

第1日目は、諸般の報告、行政報告の後一般質問を4議員が行い、2日目、3日目と6議員が福祉行政や防災などを取り上げ町政を質した。最終日に条例7件、財産（立木）処分1件、報告9件、人事8件、令和3年度補正予算3件を原案どおり承認・可決した。

また、議員報酬減額条例改正について発議があった。（詳細については5頁に掲載）

議会広報調査特別委員の辞任に伴う選任が行われ、新たな委員によって今回号より編集発刊されることとなった。

原案可決

令和3年度各会計補正予算

一般会計（2回目補正）
1億3,053万3千円増

111億4,161万4千円

（主なもの）

○くま川鉄道災害復旧補助金	23,608千円
○岡原給湯器等災害補助金	10,152千円
○新型コロナウイルス感染拡大防止負担金	11,114千円
○あさぎり中学校学習支援員報酬	6,078千円
○低所得子育て世帯生活支援特別給付金	13,200千円
○障害児保育事業補助金	7,308千円

水道事業特別会計（1回目補正）988千円増

7億2,331万7千円

（主なもの） ○施設委託料と修繕費の増額



水道災害復旧工事

球磨郡介護認定審査事業特別会計（1回目補正）
986千円増

3,681万1千円

（主なもの） ○介護保険総合ネットワークシステムの改修費の増額

質疑あれこれ

一般会計補正予算

問 障害児保育事業補助金は何名分か。

答 43名分の補正だが、5名分は今後転入等に備えている。

問 給湯器等の災害補助金で災害を受けての故障と機器の経年劣化による故障はどのように区別するのか。

答 給湯器等を修理した業者から7月豪雨によるものとの証明をもとに判断する。

問 学習支援員の資格について、他自治体は「教員資格を持つもの」と定めているが、町の応募資格要件にはないが。

答 応募者の中に昨年は資格保持者がおられたので、その方を中心に勉強会を実施し指導力の向上に努めた。今年も有資格者を優先的に採用したい。

専決
処分

令和3年度一般会計補正（1回目）予算（報告）

5,775千円増

110億1,108万1千円

○新型コロナワクチン接種事業のための会計年度任用職員等の報酬の増額



コロナワクチン接種の様子

専決
処分

令和2年度各会計補正予算（報告）

一般会計（20回目）
5億104万6千円減

147億4,326万4千円

○主に会計年度における議決済み町債の借入額の増減

国民健康保険特別会計（5回目）
9,040千円減

20億7,851万9千円

○主に保険給付費等交付金の減額

後期高齢者医療特別会計（2回目）
1,023千円増

2億1,214万6千円

○主に広域連合納付金の決定によるもの

令和2年度一般会計繰越明許費（報告）

10億997万5千円

繰越明許費とは、何らかの事情でその年度内に支出が終わらないと見込まれるものを、議会の議決を経て翌年度に繰り越して支出ができる事。

（主なもの）

- 災害復旧事業…………… 7億3,923千円
- 生活応援給付金給付事業…………… 8,981万4千円
- 第2庁舎整備事業…………… 1,850万円
- 道路等整備事業…………… 1億7,552万7千円

水道事業特別会計 繰越 640万円

○令和2年7月豪雨に伴う災害復旧事業に係るもの

下水道事業特別会計 繰越 487万3千円

○令和2年7月豪雨に伴う災害復旧事業に係るもの



被災したくま川鉄道

令和3年度 第1回会議条例の制定(抜粋)

議案第1号 あさぎり町まち・ひと・しごと創生推進基金条例

企業版ふるさと納税を取り組むにあたり、内閣府に認定された地域再生計画事業のために法人が寄附した寄附金を活用することを目的とする。

議案第2号 あさぎり町手数料条例の一部を改正する条例

個人番号の再交付手数料、1枚800円を歳計外で受け入れるため令和3年9月1日から施行する。

議案第5号 あさぎり町ヘルシーランド条例及びあさぎり町保健センター条例の一部を改正する条例

社会福祉協議会が使用していたデイサービスセンターを再編し、温泉センターと交流センター施設とする。
交流センターは、住民の交流や健康づくり、その他文化的な利用に資する事業に改める。温泉センターの定期券は2ヶ月定期券を8,400円とする。

議案第6号 あさぎり町介護保険条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免措置が、令和3年度分まで延長されたことによる。

教育委員の 任命同意



伊勢 啓史朗氏(岡原)

現委員の任期満了に伴い、
任命することに同意した。

教育長の任命同意



米良 隆夫氏(免田)

現教育長の任期満了に伴い、
任命することに同意した。

固定資産評価審査委員会 委員の選任同意

あさぎり町議会第1回会議で
選任に同意した。

藤川 友行氏(上)
荒木 昭二氏(免田)
富田 道孝氏(岡原)
佐藤 祐恵氏(須恵)
白柿 耕一氏(深田)

令和3年度第1回会議 表決一覧表

議案	議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小見田	溝口	森岡
議案第9号	令和3年度あさぎり町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和3年度あさぎり町水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	あさぎり町役場本庁舎外壁改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	あさぎり町議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○

発議

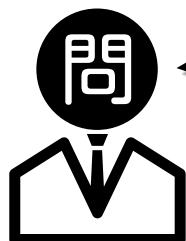
「あさぎり町議会の議員の議員報酬、期末手当及び議員費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定」について

否決

山口和幸議員他 2 議員から提出

提出理由として、新型コロナウイルス感染症及び令和 2 年 7 月豪雨災害による町民生活や地域経済の影響が深刻化する中、一層の支援が必要なことから、議員の報酬の月額を減額するため改正するものであり、なお、この条例は、令和 3 年 7 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までとするもの。

質疑



今の町民の皆さん方が関心の高いのは「議員の報酬の削減ではなく、次の町長選挙と議員選挙の同日選挙をしてほしい。」財政の削減につながり、そのほうが地域の皆さん方の関心度は高いのではないか。

同日選挙も大事だが、まず町民の皆さんに寄り添うということを考えてみた。皆さんと一緒に力を合わせて国難を乗り越切っていく。新しい生活様式をしながら、新しいまちづくりを進めるということをやっていければと思っの発議である。



討論

発議に反対

- 議員の中に被災した方もおり、ボランティア活動に参加し、テイクアウトをしたりして間接的な支援を行っている。
- 我々議会としては、議員報酬を削減した財源が果たしてそこに回るという確証はないと思う。

発議に賛成

- 議会の一つの姿勢として、こういった形をすることが住民の皆さん方にとっては町の財政にどれだけ数字的に反映されるかどうかは微々たるものという考え方はあるが、議会の意思を示すという形でやることには意味がある。

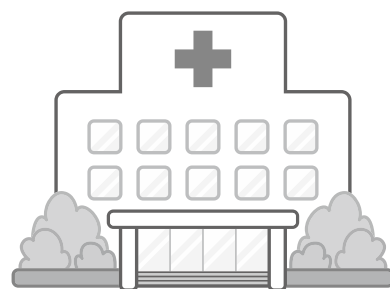
議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問します。

※一般質問の文章については、質問者の責任においてそのまま記載とします。

一般質問



こたに せつお 議員
小谷 節雄



公立多良木病院への

繰出し金の現状は

問 コロナ禍への対応や豪雨被災要援護者の受入れなど、改めて公立多良木病院の存在意義を再認識することとなったが、多良木病院に対する構成町村からの繰出しの現状は。

財政課長 繰出基準相当額に對する実繰出し額は約半分程度。

問 自治体病院への繰出し基準は、開設自治体が必要とする救急医療等の医療水準を確保するため、自治体から不

採算部門への財政補填をする事を国が認めている基準であり、県内他自治体病院では100%から80%程度なのに比べて多良木病院への実繰出しは約半分とのこと。そのような現状でありながら病院収支が赤字だ赤字だという議論は、当地域の医療を守るという観点から非常に無理があると考えらるが。コロナ禍における高ストレス状況に加え財政支援不足からのモチベーション低下による離職などから、医師をはじ

め医療従事者の基準が満たされず病院が成り立たない状況に陥る事を非常に危惧するものだが。

第2庁舎整備の必要性の精査は

問 第2庁舎整備については、町村合併後からの課題として議場移転のみでの概算額が3億円前後を想定され、その後の防災拠点施設の追加検討により8億円程度となり、更に突然福祉センター代替分が追加され、現在の概算額として約12億円余りと、当初から約4倍に膨らんできている。本町の現状から必要性の精査がまだ不十分ではないか。

町長 「公共施設マネジメント調査特別委員

会」で説明をしてきており、今後もそちらでお話をさせていただきたい。

問 この一般質問という場でお答えがないことは残念。9月議会の時点では是非の判断を迫られるとすれば、住民説明会で意見が出た場合に検討するだけのスケジュール的余地はなくなるが。

町長 9月議会で実施設計予算を提案し、座談会の時期は10月から11月あたりで設定したい。

問 住民の理解を得たという判断をされる具体的な基準は。

町長 あまり意見が出ない場合は理解頂いたと判断し、検討すべき理由で反対された場合には検討していきたい。

問 「議員や職員のための施設で町民には直接関係はない。この

時期そんなものに10何億円もかける時か。やることはもっと他にあるだろうが。」と、議場移転はおろか防災拠点施設整備でさえも懐疑的な意見を持つておられる方もおられる。拙速を避けて慎重丁寧な議論が必要ではないか。

町長 説明会で地域住民の皆さん方の理解を得た上で進めていきたい。



第2庁舎建設予定地（役場本庁舎南側駐車場）

一般質問10人が登壇

パラダイムシフトに耐えうる

子育て世代の支援拡充は

問

昨年からのコロナウイルス感染症防止対策や自然災害の影響で生活様式は大きく変化し、パラダイムシフトを引き起こした。町も少子化傾向が進んでいるがこのような時こそ将来を担う若者や子育て世代のための支援と環境整備をもう一歩進めて行くべきである。本来であれば令和2年度に設置予定であった子育て世代の包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の進捗状況は。



な ば ん 波 文 美 議員

健康推進課

計画ではコロナワクチン接種業務が10月上旬に終わる予定なので10月下旬までには設置したい。

生活福祉課

子ども家庭総合支援拠点は、地域のリソースや必要なサービスを機能的につなぐソーシャルワーク中心拠点として令和4年度中に設置を考えている。

問

厚生労働省によると支援拠点の設置には経験豊富な専門家の配置が必要とある。近隣自治体での設置状況については。

生活福祉課

多良木町が平成30年度に設置済みである。あさぎり町では小規模A型の規模となるので専門職を常時2名配置するための協議を行っている。

ひとり親家庭への支援について

問

町の現状や国県の支援策と実施状況は。

生活福祉課

児童扶養手当の受給資格者であつても申請をされない方を含め199世帯。国県からはひとり親家庭等医療費助成や母子寡婦福祉資金貸付事業がある。社会福祉協議会ではひとり親家庭親子交流事業を、県では「てとてとて・お互い様プロジェクト」を実施しており町内でもひとり親家庭の会が設立予定である。

問

母子会である「てとて」では食品や生活用品の配布会など身近な支援を定期的に行われているので、できるだけ多くのひとり親家庭に入会を勧められるよう町でも独自チラシを作成して民生委員の方に配布をお願いするべきでは。

町長

わかりやすい子育て支援のための活動についてまさしく議論を始めているところである。

問

高校生が利用している代替バスは定期テスト期間中の運行本数が少ないため、生徒によつては保護者に迎えを頼んだり産交バスを使っている。通学定期券の購入場所や時間帯も限られており不便に感じているとも聞いている。町がこれまで3回行った生活応援券の配付が定期券の購入に利用できたことは非常に有意義であったが、ひとり親家庭には定期券代を全額といわずとも半額でも補助する体制が整

企業政策課

例えば大きな支援となるのでは。

テスト期間中は土曜ダイヤの運行となっているので3時以降の便はない。

町長

現在、高校生の通学定期券代を補助しているのは、湯前駅から距離のある水上村だと思ふ。今後他町村などをよく精査していく。

その他質問事項

●学習支援員の配置について

『パラダイムシフト』とは

時代や分野において当然のことと考えられていた認識、思想、社会全体の価値観などが革命的にもしくは劇的に変化すること。

(出典：科学史家トーマス・クーン)



ながい えいじ 議員
永井 英治



免田川 浚渫前



免田川 浚渫後

町内河川の浚渫状況は

問

昨年7月の豪雨災害を受けて、現在町内河川の浚渫工事が行われているが、その現況は。

建設課長

河川の堆積土砂の撤去は、流域全体での治水対策という事で緊急治水プロジェクトの一環として取り組んでいる。国交省で町内の球磨川の土砂撤去の量が7,000m³。県で実施された分が免田川を主に10万8,000m³。

問

昨年の豪雨災害で甚大な被害が発生した、深田植の里地区と須恵寺池地区の治水対策の

現状は。

建設課長

植の里地区は、県による田頭川の越水対策として、堤防に大型土嚢の設置工事が5月に完了している。寺池地区の対策としては、洪水予想が高い時に、国交省からポンプ車の使用が予定されており、現在、素早い対応ができるように、旧東庁舎の駐車場に配置されている。これまで、球磨川の土砂掘削や樹木伐採等を講じてもらっているが、集落への浸水被害を防ぐのはなかなか困難なので、人命を優先するという考えから県の協力

問

免田川や井口川、または町の管理河川の浚渫工事が進んでも、最終的には球磨川の浚渫工事が進まなければ治水対策の根本的な解決にはならないと思うが。

建設課長

国交省では、当面予定されていた掘削工事が完了したという事だが、その後町でも現場を調査して、球磨川本流や支流との合流箇所等、まだまだ堆積土砂が見受けられるので、その状況を踏まえて国交省に要望している。国交省からも、現場の状況を踏まえて今後進めて行くという回答をもらっている。今後、少しでも災害が少なくなるよう要望していく。

防災訓練の検証と課題は

問

町では、様々な防災訓練を実施されているが、その検証と課題は。

総務課長

現在は、コロナ禍の状況の中で大きな防災訓練はできていないが、図上訓練において、各防災関係機関（自衛隊・消防署・警察）との調整力の向上、災害を予測した状況判断力の向上を目的として実施している。検証結果としては、状況図の整備要領等は向上しているが、被害情報に基づき予測した状況判断力を向上させることが必要と考える。また、図上訓練は、平日4時間かけて実施し参加できる職員も限られるので、職員の防災意識の向上が課題と考えている。

再生可能 エネルギーの 対応は

問 あさぎり町における太陽光発電施設の現状と課題は。

町長 あさぎり町の発電量は230万kw。国も

脱炭素のために太陽光を設置する区域について行政は示し推進しなさいという事になっているが、土砂流出の問題など、そ

橋本 誠議員



ういうものが発生してるのが事実なので、課題に向けて今後取り組んでいかなければならないと考えている。

問 農地転用による太陽光施設の設置状況は。

平成28年度から令和2年度までの5年間で20件の申請があった。面積については、合計で約2.5haとなっている。

問 太陽光発電施設による災害防止規制とあさぎり町景観等の再生可能エネルギー開発事業と調和に関する条例の制定が必要では。

町長 土砂流出というのは実際にあさぎり町でも起きている。開発面積が1haを超えた場合は、林地開発として県の許可が要る。ところが、1ha未満になると、こういうものが整備されていないという点がある。条例をつくる前の前段として、

現状をしっかりと分析し地域住民が困らないように、必要であれば条例を検討したい。

インターネットの環境整備は

問 ICTを活用して豊かな暮らしを進めるとのことだが、行政として、どのような活用をするのか。

マイナンバーカードによる各種証明書発行システムの検討、鳥獣害対策としてICTの活



タブレットを活用したICT授業(岡原小)

用、GIGAスクールの構想推進等とあわせて、IT人材の招聘と専門指導員育成の展開をイメージしている。

町長 光環境整備は、大容量で高速なものにしておかないと関係人口があさぎり町を通り越していつてしまう。そういう光基盤の環境をつくっていかないといけないが、町民の人たちにしっかりと理解していただき準備をしていきたい。

伐期を迎えた町有林の今後の計画は

問 伐期を迎えた町有林の現状と今後の計画は。

農林課長 50年生以上の標準的な伐期を迎えている町有林は約1,600ha、全体の64%。間伐につきましては、森林経営計画に基づいて年間100haから110ha程度の面積を実施している状況。1度に多くの森林を伐採するというのは、森林機能を低下させる



伐期を迎えた町有林

恐れもあるため、当面はこの事業量を維持していく。

問 林業も農業も建設業も全て、担い手不足が1番問題ではないか。

町長 林業の技術をきっちり守っていける人材を育てる仕組みを作っていかなければならないと思っている。

その他質問事項

● スケートボード競技施設整備について



とよなが きいち 議員
豊永 喜一



シルバー人材センターの

現状と課題は

問

シルバー人材センターは、高齢者にふさわしい地域社会に密着した臨時的かつ短期的またはその他の軽易な仕事を並びにシルバー派遣事業を一般家庭、企業、公共団体等から請負または委任により引受け、それぞれに合った仕事を会員に提供することにより、生きがいの充実、福祉の増進を図りながら、活力ある地域社会づくりに貢献

できることを目指す仕組みとなっている。現状と課題を問う。

副町長

地域社会に密着し、自主、自立、協働、共助の理念に基づき運営されている組織。地域の日常生活に密着し就業機会を提供することにより、高齢者の社会参加を促進し、また高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介

問

直近3か年の収支状況は。

副町長

受注額は、平成29年度は1億2,095万円、平成30年度が1億2,072万円、令和元年度が1億1,067万円となっており、元年度は1,000万円程受注が減っているが、順調に経営が行われるか心配したが、元年度の8月頃から、内部で幾度も検討し、体制づくりを強化し、約11万程度の翌年度繰越しを決算できた。令和2年度に引き続き、元年度よりも400万円くらい伸びる結果となっている。

問

課題として会員数の減少が挙げられたが、直近3か年の会員数と年齢階層、平均年齢は。

副町長

平成29年度末が182名、30年度168名、令和元年度154名、2年度152名、3年度5月末で117名の内訳は、60歳64歳1名、65歳69歳32名、27歳4名、70歳74歳46名、39歳3名、75歳79歳27名、23歳1名。80歳代以上11名、94%。平均年齢は73.3歳となっている。

問

会員数の減少という課題の解消策は。

副町長

会員を増やすためにこれまででは広報あさざりとか区長会でお願ひするだけの通り一辺倒な募集でなく、新規獲得に向けて対象者を絞って個別に当たったり、農業の体験講習会とか、地道に努力をしていく。

問

将来の構想として、シルバー人材センターも地域商社あさざり財団に入るのか。

町長

取りあえずはまだまだそのままの形で継続しながらお互いに連携をとってやっていきたい。

その他質問事項

●ふるさと振興社の経営状況について



会員募集中 シルバー人材センター



みなこし
皆越 てる子 議員

ヘルシーランド温泉を 拠点とした健康づくりは

交流センターと変更になり、健康づくりの拠点として、施設の一部は健康器具を配置しての健康づくりが進められようとしている。周辺を見渡してみると管理が行き届いていない箇所が見受けられる。最初に施設内の利用計画について伺う。

生活福祉課長 デイサービスセンター及び上保健センター部分は、会議や住民の方の趣味等の集まりの場、健康推進の拠点となるような施設としての利用を考えている。社会福祉協議会の事務所跡は指定管理者に事務所として利用していただく。

問 ふれあい福祉センター改修工事完了に伴い、社会福祉協議会の事務所も移転となり、名称も温泉センターと

問 厨房では冷蔵庫が稼働しているが今後の考えは。

町長 使用目的が決まり次第改修していくが、アイデアをいただければと思う。

問 健康器具（エアロバイク）での体操がで

きるのはいつ頃から。

健康推進課長 現在購入の手続を行っている。9月には本年度第2期生の教室を開講したいと考えているので、それまでに器具等の購入を済ませたいと考えている。

問 施設外のゲートボール場も含め町で管理するのか、指定管理者の契約内容は。

生活福祉課長 指定管理者に年3回の除草作業と年1回の樹木剪定をお願いしている。

問 温泉センターも一つになり、以前は上地区の老人会で川南・川北と年2回程度地区の会員4名程度で1時間弱の草刈り・剪定作業をしていた。指定管理者移行後も官民一体の取り組みとしていいのではないかと思うが。

町長 一度現場を見て、検討してみたい。

免田川に架かる石田橋を含めた今後の管理整備について

問 免田川に架かる石田橋を含めた今後の管理整備について。

町長 工事費を考えたときに撤去の方向で考えていたが、地区の方たちの利用された経緯も聞いているので、座談会の折にも意見を聞きたい。



検討中の石田橋

問 シンボルロード完成碑が平成10年3月吉日建立。県内外者の歌碑の1つ、三上慶子さんの「春蘭や父在りし日の白髪岳」、すこやか地蔵・にこにこ地蔵・けんこう



3体のお地蔵さま

その他質問事項

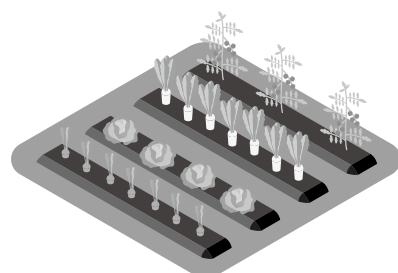
●上・岡原・須恵・深田支所の位置づけについて

地蔵・サイホン工法により免田川と百太郎溝が交差している所。小学校低学年の社会科学習また校内の遠足でも活用できるコースだと思うが。

教育長 小学校社会科学習における身近な先人の偉業を学習する場所として素晴らしいのではないかと考えている。



こみた かずゆき
小見田 和行 議員



農地政策と人材確保は

問

政府、自民党において、人口減少、担い手の高齢化に伴う農地政策（人・農地プラン、農地集積バンク等）の見直し方針をまとめ、関連法案を来年の通常国会に提出する事を決めた。現在、あさぎり町においては、耕作放棄地の割合も微小とはいえ、農業者の年齢構成を鑑みれば急激な余剰農地問題が浮上する事が危惧される。それらへの対応策として「地域商社あさぎり財団」が

設立準備に向け始動されると思うが、今後改正される事が想定される関連法とのマッチングを図り、より効果を上げるべきと考え以下

の点について問う。①人・農地プランの実質化率とは、将来における農地の出し手、受け手の決まっている農地が過半（50%以上）ある地域（エリア）が実質化したと見なされているが、あさぎり町の現状は。

農林振興課長 設 あさぎり町の8つのエリア中7つのエリアは一応実質化さ

れている状況と公表しているが、具体的な過半（50%）という点においても、まだ数値の完全な把握は出来ていない。今後はこの実質化の中身の精度を高める取り組みを進めたい。

問

②人・農地プランの進まなかった要員のひとつとして、事業を推進する担当職員の少なさもあると思うが、町長の考えは。

町長

農家自身が将来の判断に迷っておられるところもあるうし、子供が帰って来るんじゃないかの期待感もあらわれる現状だと思う。それらの判断の支援策として産業活性化プランも立ち上げて、経営診断をやらせてもらったり「あさぎり財団」を使って官民一体になってやって行く、役場庁舎内に担当部署をつくる事も将来的にはあるかもしれない。JA等と連

農業者のみなさんへ

人・農地プランのご紹介

将来の人と農地について！ 話し合いませんか？

- ◆ 自分は、あと何年農業を続けていけるかな
- ◆ この先、耕作をやめてしまう仲間が増えていきそうだな
- ◆ いざという時、だれか農地を引き受けてくれる人はいるのかな

だから今

5年先、10年先の地域の農地を
だれが、どうやって守っていくのか、
話し合っていきましょう。

〇〇市（町村）、〇〇市（町村）農業委員会、JA〇〇、〇〇土地改良区、〇〇県農地バンク

人・農地プラン

問

③あさぎり町の認定農業者の年齢階層別分布の現状は50才代から70才代の比率が高く、従事者の高齢化が進んでいる。農村回帰の動きはあるものの何よりもあさぎり町在住の農業を志す若者の定着率を上げるための「上乗せ補助」等、より厚い支援策も望まれるが。

携を図りながら、慎重にかつスピード感を持って取り組むべき事項と思っている。

町長

多様な支援策が想定されるが補助事業は自己資金が要るので経営を圧迫する要員になる可能性はある。「あさぎり財団」での農機のレンタル事業（仮定）での支援もひとつの選択肢ではないかと考える。

その他質問事項

- ふれあい福祉センターの今後の活用策について
- 自然災害対応について

人材育成と 女性職員の活躍は



かがやま
加賀山
みつこ
瑞津子
議員

問 令和3年度は新しい課の設置や若手職員の登用とこれからの活力あるまちづくりへのスタートの年となった。しかし、豪雨や新型コロナウイルス感染症など終わりの見え

町長 基本若い職員には色々な課を経験してもらい、40歳を過ぎたらその人に合った人材の登用で専門的な職員を育てたい。

ない様々な自然災害への備えや周辺市町村との連携等の課題が山積みでもある。職員の専門性を高めるための研修の実施状況は。

問 研修はまずは本人のスキルアップが大きな目的だと思うが、特

総務課長 令和元年度は36メニユーに職員延べ549名が、2年度は24メニユーに延べ277名が研修に参加。元年度からは希望する職員には長期研修（自治大学校への入校等）も行っている。高度な研修施設で専門的な知識を学び、職員の資質向上と共に組織の能率的な運営に貢献する人材の育成に努めている。

に専門性の高い研修に関する情報・技術の共有化、ハウレンソウをどの様に図っているのか。

副町長 各課で研修内容は違うが、内容の報告会や検討会を行い有効活用を図っている。

問 男女共同参画の進展や承認の深まりの中で、町として女性職員の役割をどう捉えているのか。

町のホームページにも「次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づくあさぎり町特定事業主行動計画」が公表されている。目標として課長補佐相当職以上の女性の割合を20%とあるが、

実情は平成29年度88%、30年度15%、令和元年度11・7%であるが。

総務課長 令和3年4月現在、職員数182名内女性67名（36・8%）課長職16名では女性の割合はゼロ、課長補佐21名中3名

町長 （14・3%）グループ長28名中5名（17・9%）。女性の登用とあまり意識をせずに適材適所でいきたい。女性職員にももっと積極的に前に出て欲しいと期待もある。

問 多様な生き方が受け入れられる土壌を整えるなどの課題解決も必要。女性でも男性でも障がいがあっても自分らしい働き方の先に活躍があるのでないかと思うが。

町長 色んな研修を通じて自分の視野や行動範囲を広げ人間性を高めてもらいたい。若い人たちの活躍する場を作ることに使命感を持って取り組んでいく。

企業版ふるさと納税の取り組み状況は

問 一般財団法人あさぎり地域づくり推進機構の中で活用するのか。

男女共同参画社会のイメージ図

男性も女性も意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会

職場に活気 ・生産性が向上 ・個人が能力を最大限に発揮	家庭生活の充実 ・家族のパートナーシップの強化 ・男性の家庭への参画	地域力の向上 ・地域の活性化 ・子ども達がのびやかに育つ環境の実現
--	---	--

ひとりひとりの豊かな人生

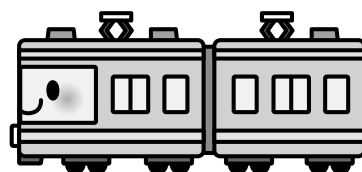
- ◎多様な活動を自らの希望に沿った形で展開
- ◎男女ともに夢や希望を実現



町長 まち・ひと・しごと創生総合戦略に則り進めていく。その中で福祉や子育て等にも活用したい。



いわもと やすのり
岩本 恭典 議員



ふるさと振興社の経営状況と

今後の運営方針は

問 平成30年12月定例議会で、ふるさと振興社調査特別委員会から今後の課題の調査報告があり3年間の経営状況と令和2年度の決算状況について尋ねる。

町長 振興社については、徐々にではあるが経営改善が出来ている。令和2年度の決算内容については、まだ総会の承認を得ていない。

商工課長 令和元年度について、売上高は、前年対比約55%の伸び、当期の純利益は、約500万

以上の黒字、事業経費は、53・9%ということ、コストの削減も行われて、現在はいいい経営状況になっている。

問 加工製造業務が赤字を出していたが、どのような強化を図って来たのか。

商工課長 効率の悪い手作業で設備投資が出来なかった反省点もあり、今後はそういうのも考えていくべきだと思う。



復旧が待たれるくま川鉄道
(7月豪雨で被害にあった川村駅)

問 機械設備がないから、受託が受けられない。特産物を作ろうと思っても設備が整っていない。最低限の設備投資をしていくべきじゃないか。また、財団設立後どのような事業内容で行っていくのか。

町長 企業として利益を上げ、必要なものを投資して償却することで税金対策にもなるので、徐々に設備投資を行って、あさぎり財団について、当面は今の事業を継続し、可能な部分から新たな取組をしていきたいと思っている。

くま川鉄道の復旧および復旧後の事業運営について

問 国土交通省がくま川鉄道株式会社に對して、特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業費補助による支援を発表した。あさぎり町の負担額は。

企画課長 総事業費4億3,592万4,000円のうち、町の負担額は2,360万8,000円となるが、公共土木施設災害復旧事業債を充てられ、実質町が支出する額は、118万400円になる。

問 補助金を受けるのに、災害を受けた事業者が過去3年間赤字、全線復旧後の上下分離方式を導入するという要件がある。上下分離方式の内容とこれに対する町長の考えは。

企画課長 自治体が鉄道施設を保有して無償貸与し、復旧に要した費用を鉄道事業者または地方自

治体に国が補助金を交付するということになっている。

町長 くま川鉄道の経営再建のチャンスではないかと考え、いい方式を提案して頂いたと思っている。

問 昨年の9月定例議会で、復旧後の事業計画や収支計画を検討し、町民の理解と協力を得られるよう結論を出すべきとの決議を提出している。

上下分離方式後の独立した鉄道運営事業者として、関係市町村に対して説明責任を果たすべきと思うが。

町長 くま川鉄道再生協議会にお願いしていきたい。

その他質問事項

●旧5か町村の公文書及び資料について



溝口 峰男
みぞぐち みねお
議員

名簿提供の根拠となる 条例の制定は

問 区の自主防災組織や
区長・消防団・警察・消防署等に避難行動
要支援者名簿の提供がな
ければ災害時に高齢者や

障害者など弱者の命は救えない。そのためには、個人情報である名簿提供の根拠となる条例の制定を急ぐべきではないか。

町長 緊急時に役に立たない名簿であっては意味をなさないので、避難行動要支援者2,400

名余の名簿を地域で「ご近所支え合いネットワークづくり」に活用いただき緊急避難時に役に立つ名簿ができるよう名簿の取り扱いにかかる条例制定を検討する。

問 外国人も町内に269名在住されているが、避難場所の情報提供はどのようにしているのか。

総務課長 外国人に対する避難の周知はできていない。今後、町のホームページ等に英語訳で表示することもできるので周知を図っていく。

町長 外国人労働者は、必要欠くべからざる人

材となっているので、避難等について企業との連携を整えていく。

公民分館建設に対する 住民負担は

問 今後の公民分館建設は、区の統合を踏まえ広域的な一時避難所等に活用できる複合施設として建設する方針が示されているが、建設地区住民に負担金を求めれば区の統合もできなくなるのではないか。

町長 区の統合については「まちづくり審議会」で検討いただいている。そちらが進んできて公民分館の建設が令和4年度に具体的になってくると思うが、経済も低迷しコロナ禍で収入も減少している。また、年金だけの生活の方に負担を求めるのは非常に厳しい状況ではないかと思う。

自主防災組織や備品購入に対する助成及び災害時の補償の充実

問 区の自主防災組織活動に対する助成及び備品購入助成。そして自主防災活動に対する実災害時の補償の充実をしなければ、今後の自主防災活動に安心して参加できないが。

総務課長 現行の区の運営助成金の戸数割500円の内147円が自主防災活動に使用いただくようになっていく。実災害時の補償については、提案いただいた内容を精査し検討したい。

町長 自主防災活動助成は、一度精査をして現状に即した制度に見直しをしたい。備品購入支援は、各自主防災組織の備品希望調査を行い緊急を要する物は補正予算でも対応したい。

* 避難行動要支援者名簿とは *

- 65 歳以上の高齢者で
 - ①介護保険「要介護3」以上 ②寝たきり及び認知症
 - ③一人暮らし
- 75 歳以上の高齢者のみの世帯
- 障がい者の方で
 - ①身障者手帳1・2級所持者 ②療育手帳A所持者
 - ③精神障がい者福祉手帳1級所持者
- 上記以外で町長が必要と認めたもの



永山地区自主防災組織による
避難所設営訓練

● あさぎり町誕生20周年に向けて「あさぎり町音頭」の制定について

その他質問事項

常任委員会報告

総務建設経済常任委員会

○5月25日（火）

①一般会計補正予算（第2号）について

（農林振興課）

担い手づくり支援交付金事業（融資主体型）助成金他の説明を受ける。

問 今回の件は農業次世代人材投資事業に該当しない人なのか。

答 これは独立就農型である。

（総務課）

ゴムボート、船外機（6人乗り）3艇、救命胴衣18着購入他の説明を受ける。

問 船舶免許の必要性はないのか。

答 免許不要の船外機である。

（企画政策課）

くま川鉄道経営安定化補助金（災害復旧分）他説明を受ける。

問 今後のくま川鉄道のあり方について具体的な説明を。

答 詳しい資料の提供を（株）くま川鉄道に求めている段階である。

（商工観光課）

新型コロナウイルス感染拡大飲食店等時短要請協力金負担金等説明。

（建設課）

土砂災害危険住宅移転事業補助金他の説明。

②町有林伐採（全伐）にかかる財産の処分について

（農林振興課）

問 今回の伐採の理由は。

答 伐採の時期が来ていることとビハ公園周辺の環境整備のため。

③まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定について

（企画政策課）

企業版ふるさと納税に関連するものとの説明を受ける。

意見

・非常にいい取り組みだと思うので、ふるさと会等の協力をいただいたらどうか。

④訴訟費用の予備費充用について

（税務課）

問 町として法律に基づいて行った事が裁判になる理由は。

答 競売が取り消しになった事に

よって、その損害賠償を求めて裁判手続きをとられたもの。

⑤給湯機器等災害補助金交付要綱（案）について

（上下水道課）

問 令和6年3月31日限りこの効力を失うとの事だが、期間が長すぎるのでは。

答 今年度に限った事業である事から再度検討する。

⑥あさぎり町道に係る移動等円滑化のために必要な道路構造基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

⑦第4次行財政改革プランについて説明をうけた。



令和2年7月豪雨災害状況（岡原水源）



復旧された岡原水源

厚生文教常任委員会

○4月26日(月)

①あさぎり町いじめ防止基本方針について

(教育課)

今回の改正の背景には、情報端末器(スマートフォン)の普及等によるいじめ形態の多様化や、県内をはじめとした重大事態の発生など様々な要因がある。

意見

- ・被害者となった児童生徒の尊厳の保持に配慮してほしい。
- ・コロナ禍における児童生徒のストレスからのいじめも今後考えられる。それらへの対処策も方針に明記すべきではないか。
- ・スマートフォンの適切な利用を。

②令和2年度 熊大連携事業と今後の取り組みについて

(教育課)

教師の指導の向上、児童の学力の向上について、熊本大学との連携事業としてリモートで行われているが、大学の先生に実際に現場を観てもらえない課題が残ったとの事である。

③障がい児通所支援事業について(生活福祉課)

毎年増加傾向にある本事業の利用規定、標準支給量等の詳細な点の説明を求めた。実態の調査が必要であるが、県の指導管轄なので町としては直接指導はできないとの事である。

④ふれあい福祉センターの今後の具体的運営策について

⑤訪問介護事業の現状と課題について

(生活福祉課)

ヘルパー事業(訪問介護)は介護報酬単価が安い為、経営は厳しい。町や社協としては、今後、NPOやボランティア・民間の事業所を充実させて、協力をお願いしていきたい。

○5月24日(月)

①あさぎり町ヘルシーランド条例及びあさぎり町保健センター条例の一部を改正する条例の制定について

(生活福祉課)

デイサービス事業のふれあい福祉センターへの移行に伴う条例の改正。

問 温泉センターが現在午後9時閉館となっているが、密になる可能性があるもので午後10時

までとしてほしい。

答 まん延防止等重点措置により午後9時以降の外出自粛となっている。

意見

・障がい者の利用にあつては、介助者の料金の配慮はできないか。



ヘルシーランド 多目的ホール

②あさぎり町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

③あさぎり町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

④令和3年度一般会計補正予算について

(町民課)

学習支援員配置事業について

問 教員免許所有の要件は課されるのか。

答 必ずしもそれは求めているが、町としては免許所有者が良いと思っている。

意見

- ・夏休み中の生涯学習センターでの学習指導へのスクールバスの運行はできないか。
- ・中学3年生に特化する学習支援ではなくもっと早くから実施すべきではないか。
- ・公民分館等の施設の整備事業については、キッチンセット等は補助上限額を決めるべきではないか。

⑤あさぎり町手数料条例の一部改正について

(町民課)

マイナンバーカード交付手数料が歳計外となるため、あさぎり町手数料条例から再交付手数料800円が削除された。今後は発行主体である地方公共団体情報システム機構から住所地市町村長に徴収事務が委託されることとなり、再交付手数料の800円は新しい納付様式になる。

一部事務組合報告

上球磨消防組合議会

○4月27日(火)

令和3年第1回上球磨消防組合議会臨時会が上球磨消防研修室にて開催され、執行部より物品売買契約の締結について「水難救助車購入事業」の議案が上程され、本案は全会一致で原案どおり可決した。委員会報告について、上球磨消防組合消防庁舎建設調査特別委員会、橋本委員長より調査の経過および概要が報告され本案は、全会一致で可決した。また、同日午前10時より同消防本部庁舎車庫内にて来賓および工事関係者約40名が参列し、上球磨消防組合消防庁舎総合落成式が行われた。



完成した上球磨消防組合消防庁舎の風景

人吉球磨広域行政組合議会

○5月31日(月)

令和3年度第2回議会臨時会が開催され、同2年度一般会計補正予算の専決処分を承認、監査委員の専任に同意した。又、議会運営委員会では、皆越てる子議員（あさぎり町）が委員長に選任された。専決処分は昨年の豪雨災害で大きな被害を受けた汚泥再生処理センターの災害復旧に係り、全国町村会建物災害共済の共済金額が3月末に確定。災害復旧事業に共済金を充当し、国庫補助金及び地方債の金額が減額となったことから補正予算を編成。歳入歳出にそれぞれ7,761万7,000円を追加し総額44億2,211万4,000円となった。また監査委員の選任同意は前任者

が5月末で任期満了を迎えるため、後任に人吉税務署や大分税務署の要職を歴任、現在は多良木町及び上球磨消防組合の代表監査員を務めている人吉市の山崎信治氏（61）の選任に同意した。

その後の全協にて「一部事務組合の議員定数」について報告があり今後は各市町村で定数について協議いただくことの依頼分を議長あてに送付することとした。



汚泥再生処理センター現地視察

インターンシップカリキュラム (職場体験学習)を終えて

7月6日から9日の4日間、球磨中央高校2年生の犬童璃音さん、上田詩音さん、山下采華さん、福屋楓さんが、あさぎり町役場でインターンシップとして役場の業務を体験しました。4人は総合窓口や脳いきいき教室、体育施設点検作業などを体験しました。議会事務局では、議会を見学し議会について学び、会議録作成を体験していただきました。インターンシップでの感想をいただきましたのでご紹介いたします。



左から福屋さん、上田さん、山下さん、犬童さん

犬童 璃音さん (吉井)

インターンシップを経験して、あさぎり町役場の皆さまが日頃、町民のためにどのような仕事をしているのかを知ることができたので良かったです。そして、この4日間では挨拶の大切さが分かりました。これからの生活でも自分から挨拶していこうと思います。また、地域の行事にも積極的に参加していこうと思います。

山下 采華さん (吉井)

インターンシップを終えて、あさぎり町はたくさんの方たちのサポートがあり生活ができていたということや仕事の大変さを学ぶことができました。また、実習をとおしてコミュニケーションをとるというこの大切さや楽しさを実感することができました。これからいろいろな人と関わる機会がある時には、行事等に参加してみたいなと思いました。

上田 詩音さん (黒田)

今回のインターンシップを通して、実際の業務に携わるといふ貴重な経験や講話、いただいたアドバイスなどから多くのことを学ぶことができました。職員の方々には4日間大変お世話になりました。自分に不足している部分や改善する部分など発見できた実習でした。この経験を生かし、今後の進路選択に繋がりたいと思います。

福屋 楓さん (吉井)

インターンシップで学んだ事は、お客様の対応の仕方と礼儀のよい挨拶です。この4日間で学んだ事を生かして、これからの将来のために働くうえでの心構えをしていきたいです。

あさぎり町に望む事

あさぎり町の皆様が、健康な体を保てるように体力をつける場所や運動ができる場所を作ってほしいです。



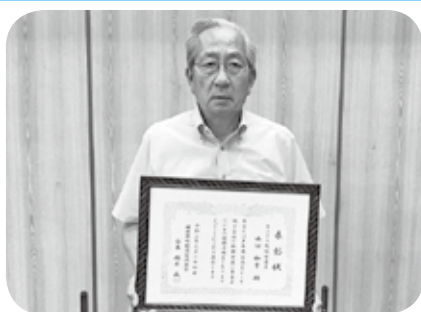
徳永正道議長が熊本県町村議会 議長会副会長に就任

熊本県町村議会議長会の臨時総会が6月1日熊本市のホテル熊本テルサで開かれ、任期満了に伴う役員改選で、徳永正道議長が副会長に選出された。なお、徳永議長は、5月に球磨郡町村議会議長会の会長にも就任している。

令和3年度 熊本県町村議会議長会 臨時総会



永年在職議会議員表彰



山口和幸議員が、町村議会議員として10年以上在職し、功労があったとして球磨郡町村議会議長会会長より表彰された。

\\ 聞かせて //

町民の声

町内の方々に寄稿していただきました

主人の転勤を機にあさぎり町に来て14年が経ちました。子ども達の成長と共に、人見知りで面倒くさがりな私も子どもや地域を通して、いろいろな行事や活動に参加することで確実に成長していると感じています。今ではすっかり馴染んで、自然が豊かでとにかく人がいいこのあさぎり町で安心して楽しく過ごしています。今から3年前、当時の区長さんに声をかけられたのをきっかけに月2回のいきいき100歳体操に参加し始め、地域の方々を支える地域の方々がいることを知り、その姿にとっても感動しました。他にもいろんな所や場面で助け合いや支え合いを目にし、あさぎり町は思いやりの心あふれる優しい町だなと思います。これからもこの心の輪がもっと広がっていけばいいなと思います。



上地区(堀の角)

今田 ゆり子さん



■表紙の写真について

7月4日豪雨災害の復興への祈りの水灯り
【寺池(川瀬)地区】

このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願い致します。



編集後記

コロナ禍に見舞われ早くも1年半が経過しました。その間に無くしてしまった平穏な日常生活を取り戻すためにもワクチン接種の進捗が急がれており、希望する全ての方に對しての早期の接種完了を期待したいと思います。

さて、本号から新たな編集メンバーとなりましたが、引き続き議会の実情を少しでも分かり易くお届けできるように取り組んでまいりますので、今後とも叱咤激励のお声をいただければ幸いです。

(小谷 節雄)

編集・発行責任者

議長 徳永 正道

広報調査特別委員会

委員長 小谷 節雄
副委員長 岩本 恭典
委員 溝口 峰男
山口 幸
小出 高明
難波 文美



★お願い★「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等で伺いして取材します。
議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

